



組合員が就労できるよう自家用排除対策を求めました（9月19日徳島河川国道）



ナンバー問題を学習し、車持ちダンプ労働者の闘いを学び直しました（9月28日徳島市内）

組合員の仕事をまもれ 第2次キャラバン行動

徳島ダンプ

自家用を排除するな 国交省・県庁へ要請

徳島ダンプ支部は、県内の建設工事現場で自家用（白ナンバー）ダンプを排除する動きが強まっているが、9月19日に徳島河川国道事務所と徳島県庁への要請行動に取り組みました。

現場組合員2名が参加し、「国交省の現場で白ナンバーと言うことで、仕事に呼んでもらえなくて困っている。自分のダンプに乗れず、バイト扱いで会社のダンプに乗っている」など具体的な事例を示しました。支部からは問題の原因となっている「徳島トラ

ック協会」が発出した2通の文書を紹介し、「徳島トラ協の文書を悪用して一部の会員が『自家用（白ナンバー）は違法だから使えない』と各建設会社を触れ回っている」と説明し、「不当な自家用（白ナンバー）の排除を止めさせて組合員が堂々と働けるようにして欲しい」と改善を求めました。徳島国道事務所の担当者は「今までと同じで、青を使っ

てください。白を使っている」と言っていたことではない」「排除された現場については、元請事業者が今まで通り、青・白関係なく使おうと元請を指導します」との回答でした。徳島県庁においても、実態の説明を同様に行いましたが、県庁の担当者は「建設指導課では、白ナンバーが排除されているとの情報は聞いていない」「排除された現場があれば、

青・白関係なく使おうと元請を指導します」との回答でした。その後、支部ニュースにナンバー問題の情報が有れば「現場名と元請事業者」を連絡するよう周知しています。

自家用ダンプについて 各運輸局と懇談を実施

自家用（白ナンバー）ダンプに対する現場排除（配車拒否）や白トラ行為の摘発が強まる中、一部の支部で各運輸局との懇談に取り組みました。東海ダンプ支部は、9月3日に中部運輸局との懇談を行い、自家用ダンプの使用についての適法（事例）を示しました。その内の一つとして、元請（ゼネコン及び道路・砕石会社）との労働協約（個人の自家用）を結んで就労するケースなどを確認しました。9月17日に東北ダンプ支部が東北運輸局との懇談を実施しました。同月10日の本省レクチャーを踏まえたものになりましたが、自家用ダンプにおける「労働協約書」の内容や「自家用行為（付帯業務）」の見解を確認しました。

9月30日に埼玉南部支部と東海ダンプ支部が共同で関東運輸局との懇談に取り組みました。各道路舗装会社における自家用排除の状況を伝え、合材プラント直用での就労について意見交換しました。

国土交通省は、10月1日付で大型トラック等の車輪脱落防止を呼びかけています。車輪脱落事故の件数は、2020年度から2024年度で年平均100件以上も発生しています。冬季の10月、2月に集中しており、「東北・北海道・北陸」地域での発生が高くなっています。さらに車両の初度登録4年以上の大型車が多発しています。走行中に車輪脱落が発生すれば、付近にいる他の走行車や歩行者・民家などへ衝突し、重大事故にもつながります。仕事や生活にも大きく影響します。日常的な点検整備を実施しましょう。

大型自動車（事業用・自家用）に乗り始める皆さんへ

重大事故を防ぐため、適切な点検整備の実施を!

大型自動車は、事故が起こると重大な被害につながる可能性があります。日々の点検整備を徹底し、安全な社会の形成に、ご協力をお願いいたします。

項目	点検整備の目安
エンジンオイル	エンジンオイルのレベルを確認し、不足の場合は補充してください。
ブレーキ	ブレーキペダルを踏んだ時の反応を確認し、異常があれば修理してください。
タイヤ	タイヤの空気圧を確認し、適切な空気圧に調整してください。
照明	ヘッドライト、ブレーキライトなどの照明が正常に作動していることを確認してください。

大型自動車の車輪脱落事故

車輪脱落は、重大な事故の原因となります。以下の点に注意してください。

- 車輪のゆるみを確認する
- 車輪の損傷を確認する
- 車輪の交換時期を確認する

大型自動車の点検整備・車検と事業用自動車の行政処分

項目	違反内容	違反点数
① 日常点検の実施	＜初違反＞：警告～5日 × 違反台数	違反台数
② 定期点検の実施	＜初違反＞：警告～10日 × 違反台数	違反台数

国土交通省

車輪脱落防止を徹底

年平均100件以上

国土交通省は、10月1日付で大型トラック等の車輪脱落防止を呼びかけています。車輪脱落事故の件数は、2020年度から2024年度で年平均100件以上も発生しています。冬季の10月、2月に集中しており、「東北・北海道・北陸」地域での発生が高くなっています。さらに車両の初度登録4年以上の大型車が多発しています。走行中に車輪脱落が発生すれば、付近にいる他の走行車や歩行者・民家などへ衝突し、重大事故にもつながります。仕事や生活にも大きく影響します。日常的な点検整備を実施しましょう。

大型車の脱輪事故防止対策を呼びかけるチラシ